

「種子処理」。 これが、新時代の いもち病防除。

- いもち病に有効なルーチン®(イソチアニル)含有。
- 種子への直接処理で優れた効果を発揮。
- 農閑期に作業ができ、春先の労力を軽減。



ルーチン® シードFS



ルーチン®シードFSを
処理した種子



いもち病



白葉枯病



バイエル シードグロース®
水稲種子処理が農業を変える

水稲種子処理用
殺菌剤

「種子処理」。これが、新時代のいもち病防除。

ルーチン®シードFS

農林水産省登録 第24194号

●成分：イソチアニル…41.7% 殺菌剤分類 P3

●性状：赤色水和性粘稠懸濁液体

●毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)



製品情報はこちら

特長

いもち病防除の定番ルーチン®(イソチアニル)を含有

有効成分イソチアニルは浸透移行性に優れ、いもち病に対して長い残効性を有しています。

種もみに直接薬剤を処理するため、短時間で簡便に処理可能

農閑期に薬剤処理することで春先の作業を軽減できます。

処理した浸種前の種もみは9ヶ月、鉄コーティング種子は6ヶ月の保存が可能です。* *温度および湿度管理された種子貯蔵庫で保管して下さい。

密播、密苗※などの高密度播種苗にも対応可能

箱粒剤の処理量が「粒剤の箱当り」であるのに対し、本剤は「種子重当り」となるため安定した効果を発揮します。

※「密苗」はヤンマーホールディングス株式会社の登録商標です。

適用病害および使用方法

2025年1月現在の登録内容

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	使用回数*	使用方法
稲	白葉枯病 もみ枯細菌病 内穎褐変病 いもち病	乾燥種もみ1kg当り 原液6~12mℓ (原液71mℓ/10aまで)	は種前 (浸種前)	本剤：1回 イソチアニル：3回 (直播では種時または 移植時までの処理は1回、 本田では2回)	塗沫処理 (種子被覆剤を加用)
	いもち病		は種前 (浸種後)		コーティング中 またはコーティング後の 種もみに塗沫処理

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

種子処理(ルーチン®シードFS)と省力栽培

◆ 移植栽培

ルーチン®シードFS処理済種もみには箱処理剤は不要。播種量が変わっても種もみに対する薬量は一定なので、効果が安定します。

◆ 直播栽培

ルーチン®シードFSは主なコーティング資材と併用が可能です。鉄コーティングや乾田直播では農閑期に処理することができます。これにより、本田でのいもち病防除を省力化できます。

ルーチン®シードFS

をあらかじめ種もみに処理することにより、箱処理剤と同等の効果が期待できます。

いもち病

白葉枯病

®カルバーは保土谷化学工業㈱の登録商標

○薬剤の処理時には、必要に応じて適宜加水して下さい。

○薬剤および薬剤処理済種もみを扱う際は、保護衣、保護メガネ、農業用マスク、不浸透性手袋を着用して下さい。

○低温や水はけが悪い等の条件により、3日程度の苗立ちの遅延が認められる場合がありますが、その後の生育に影響はありません。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

BCS25.01